



厚木中ロータリークラブ週報 Rotary



2018 ~ 2019 第 1948 回 2018.8.22 Vol.5

国際ロータリー第 2780 地区 第 6 グループ

会長：笹生 誠 幹事：五十嵐直樹 クラブ広報委員会 委員長：三平治憲

事務局 厚木市栄町 1-16-15 厚木商工会議所 2F TEL : 046-222-5811 FAX : 046-222-5821

Weekly
Report



＝ 本日のプログラム ＝ ガバナー補佐訪問・IA 合同委員会 — 会長挨拶・報告 —

笹生会長より

8月に入ってから2回目の例会ですが、8月の4日、END POLIO NOW皆さんお疲れ様でした。11万484円集まりました。暑い中大変だったと思います。まだ暑いですし、台風も直撃するところもあるかもしれませんので、皆さん気を付けてください。

○ガバナー事務所 より

・地区大会

第1日10月13日(土) 鎌倉パークホテル

第2日10月14日(日)

茅ヶ崎市民文化会館

本会議 点鐘 12:30

大懇親会 17:15～ 茅ヶ崎市総合体育館

・青少年交換 来日・帰国学生オリエンテーション／
解団式のご案内

○本厚木ロータリークラブ より

・国際ロータリー加盟認証状伝達式のご案内
平成30年10月20日(土) 17時から
レンブラントホテル厚木 会費:10,000円

○座間 より

・青少年交換留学生の支援金のお願

○公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
より

・ハイライトよねやま Vol. 221

○厚木商工会議所より

・第8回厚木商工会議所ゴルフ大会の開催に
ついて(参加依頼)

○公益財団法人米山梅吉記念館 より

・秋季例祭案内・賛助会入会・館報 等

が届いております。

— 幹事報告 —

・吉川会員の奥様、順子様が62才で永眠されました。
・五十嵐幹事、竹田 翔哉さん、遠藤 滉さんの三人で

地区大会でパネラーとしてディスカッションすることになりました。

— IA 報告 —

小池 法彦様



こんにちは。この一年間、生徒ともども有難うございました。生徒がこのような自由な活動ができるのも皆様のおかげです。一年間の報告を致しまして、生徒自身コミュニケーション能力が養われま

した。4月になりまして部員も5名増えました。特に男子生徒が増えたことで活動の幅が広がると思います。また、POLIO募金の方も夏休み参加させていただきました。生徒たちも達成感を学ばせていただきました。本日お願いがありまして、学園祭でPOLIO募金に協力できないかということで、バザーを行ない、その収益をPOLIO募金に還元したいと思っています。つきましては、皆様にも商品の提供をしていただければ有り難いと思っています。10月27日土曜日に行く予定です。生徒たちが自ら企画したものでございますのでお力添えをお願いしたいと思っています。生徒たちも一年間、自由な発想で言ってくると思いますが、いつも感謝しております。今後とも宜しくお願い致します。

— お祝い行事 —

担当：黒木 会員



《配偶者の誕生日》
笹生 会長の奥様
8月23日

— スマイル —

☆お客様のスマイル

【中野 ガバナー補佐】

本日は国際ロータリー第2780地区第6グループのガバナー補佐として、公式訪問前のお役目でお伺い致しました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

— 当クラブ会員のスマイル —

【笹生 会長・西 副会長・山口昇 会長エレクト・五

十嵐 幹事・石川 副幹事】

やっと涼くなったと思ったら、また暑さがぶり返してきましたね。熱中症には気をつけましょう。インターアクト、ローターアクトの皆様ようこそ。中野ガバナー補佐、あらためてよろしくお願い致します。

【笹生 会長】

本日は妻の誕生日が8月23日で、1日早いお祝いです。山崎さん写真ありがとうございます。

【和田 会員】

先日の鮎まつり花火大会、無事に終了しましたので、スマイルします。ありがとうございます。

【三平 会員】

本日は所用の為、早退させていただきます。中野ガバナー補佐、体調に気をつけて頑張ってください。

【飯田 会員・池本 会員】

鮎まつりの際の諸行事に参加できなかったのがスマイルします。皆さん暑い中ご苦労さまでした。中野ガバナー補佐、本日はよろしくお願い致します。

【竹内 会員】

山崎さん写真をありがとうございます。

【黒木 会員】

今日はじめてスマイル担当させていただきます。不慣れな進行でご迷惑かけます。よろしくお願い致します。

■皆様、ご協力有り難うございます。

— 卓話 —

担当：中野 ガバナー補佐



皆さんこんにちは。本日は脇ガバナー公式訪問の前にガバナー補佐として役割を果たすために自クラブではありますが、卓話をさせていただきます。最初に皆さん、先日の鮎祭りのキャンペーン、本日に有り難うございます。地区を代表しまして御礼申し上げます。

ガバナー補佐となり、早くも10ヵ月経ち、ガバナー補佐研修、第6グループの10クラブへの事前の訪問、公式訪問前のガバナー補佐訪問も今日で4クラブ目となりました。脇ガバナーはJCで一緒しているときか

ら尊敬する方でもありますから、この職務を受けさせていただきます。ガバナー補佐はクラブと地区を結び付ける大切な存在でございますので、その重要な使命を担っております。皆様のお力添えをいただいて、職務を果たしていきたいと思っております。

第6グループは各クラブの特性を生かしながら地区方針を全うし、各クラブの活力ある組織運営と10クラブの輪づくりをすすめ、第2780地区の中核として他のグループのガバナー補佐とも協力し、国際ロータリーのテーマでもあります「インスピレーションになろう」の意味を確りととらえ、明るく楽しく友情の絆で結ぶロータリーの推進をしてみたいと思います。

【卓話】

国際ロータリーの本部は、ずっと米国イリノイ州のシカゴ圏内にあります。エバンストン中心にある「ワン・ロータリー・センター」と呼ばれる事務所ビルで40万平方フィート(37,160平方m)の床面積を備えています。

このビルを国際ロータリーが購入し、ロータリーがもっと成長し、スペースがもっと必要になるときまでスペースのおよそ半分をテナントに賃貸しています。

190席の講堂、大きな駐車場、200席のカフェテラスをはじめ、RI世界本部の500人以上の職員や従業員が働ける機能的なオフィスのスペースがある。18階には役員用特別フロアが設けられているそうです。

ロータリークラブは国際ロータリー(RI)の会員です。RIという組織に属するクラブはその設立の認証を受けた時から、そのクラブの会員になる人は、好むと好まざるとに関係なく自動的にロータリーの綱領の中に示されたロータリーの原則を受諾し、定款などの規則に拘束される事についても受諾したものとみなされます。従って組織的には、RIの方針に反対だという人はロータリークラブの会員にはいないということになります。ロータリーには特別な3つの義務以外には何の拘束もありません。その3つとは、①例会に出席する約束②会費を収める約束③ロータリーの公式雑誌を買って読む約束。これ以外の義務は会員に課せられていません。

しかし、それにもいくつかの緩和処置があって、会員が何を、どのように、どう考えるかは全く会員の意思

であり、利己から他社へとその人の熱意と自覚を以ているというのもロータリーという組織の特徴であります。と、後藤定毅PGがガバナーの時に月信に書かれていますので紹介いたします。

次に、ロータリーの長い歴史は、ポール・ハリスの一步から始まった。1935年ポール・ハリスは「世界は常に変化している。ロータリーは世界と共に変化して成長していかなければならない。ロータリーの物語は何度も何度も書き換えられなければならない」という創始者オイル・ハリスの名言が有ります。

イアン・H・SライズリRI会長は昨年地区大会の中で、私も同感です。また、クラブと地域社会のために尽くす強くて革新的なリーダーがいてこそ、ロータリーが進化し、変化することができる。地域に住む人、世界の裏側にいる人を助けることの重要性を認識している。奉仕を通じて素晴らしい事を成し遂げようとも語りました。

1917年ロータリー財団は先見の明をもつ6人目のRIアーチ・クランフ会長が米国ジョージア州アトランタ国際大会でロータリーは事前の財団を有する事により、より多くのことが可能になるという設立目的を以て「世界で良いことをする」ための基金の設立を提案し、「私達はロータリーのために大志を抱く必要がある」との考えのもと呼びかけた一步から始まった。そして米国ミズリー州カンザスシティRCから最初の寄付26ドル50セントの寄付が寄せられた。1930年国際障害児協会へ500ドルを送り、これが財団補助金の第1号となりました。また、1947年ポール・ハリスが逝去した後18か月間にハリスを追悼する寄付100万ドル以上が財団へ寄せられた。1951年アーチ・クランフが逝去したころには財団は300ドル近くまで成長しました。

職業奉仕の父とも言われるアーサー・シェルドンの言葉に「もっとも奉仕する者、最も多く報いられる」という言葉がある。

1人のロータリアンの行動が人々の人生を変え、ひいては世界を変えることになる「ロータリー財団が変えた人生」は2016-17年度に100年の歴史を築いた。よってロータリー財団は私達、ロータリアン全員が大切にすべき「愛」の財布なのです。と故渡辺治夫バス

ト会長のことは印象に残っています。

2013-14年度ちょうど私が厚木中ロータリークラブの会長を務めた年に全世界で導入された補助金制度

「未来の夢計画」は「地区補助金」「グローバル補助金」「パッケージ・グラウンド」の3つに簡素化され、意思決定権の多くが地区に移管された。このことにより、クラブが実施する様々な奉仕プロジェクトへの柔軟な補助金活用が行えるようになり、財団補助金を利用するクラブの活性化や、地区におけるロータリークラブの活動機会を増やす事に貢献することができてきました。私は自ら財団資金である地区補助金の活用も経験し、地区財団補助金推進委員会に2年、続いて地区財団資金推進委員会委員長をつとめました。何かお手伝いする事があればご相談下さい。

国際ロータリーには、現在世界の隅々に534地区35,000ロータリークラブがあり、2018年1月14日現在で1,222,095人のロータリアンが活動しています。日本のロータリーは現在、全国3ゾーン、34地区、2,265クラブがあり89,544人(2018年4月末現在)が活動しています。第1ゾーンから第3ゾーンで構成され第2780地区は第2ゾーンに属します。その34地区のうち女性のガバナーは唯一人だそうです。先日その方が会員増強セミナーの講師として藤沢に来ていただきました。その方の名前は服部陽子さんで第2750地区東京広尾RCの方です。

また、青少年交換等の活動の中で必要な危機管理システムが策定されています。天災、テロ、紛争等が万一発生した場合、いち早く交換学生を守る事を目的として情報確認が瞬時に行われるようにするためのシステムを作っています。

このことも何らかの機会があれば卓話者をご紹介したいと思います。ロータリーにとって最も大切な事は「行動する人」ではないでしょうか。心は人にある。物・金・情報には心はありません。自ら行動も起こさない。心は人にある。ロータリー精神を伝え続けるために心と行動が必要。それは人にしかできない事です。だからこそ、ロータリーにとっての大切な人を集める「会員増強」は私達の永遠のテーマなのです。地区の松下会員増強委員長は語っている。

また、公共イメージと認知度の向上というテーマがあ

ります。公共イメージと認知度の2つのどちらも向上させなければいけない。

「認知度だけを上げて公共イメージを良くすることに直接つながらない。最も効果的なものは、私達ロータリアン一人一人が、公共イメージを正しく広める行動する人にならなければならない。」と結んでいます。脇洋一郎ガバナーは私達AG(ガバナー補佐)に対し、この1年を共にするに当り、ロータリーとは何か、どのような存在か、地区に対して何ができるのか、また、何を残すことができるか。ロータリーのもつ魅力こそが、ロータリーを継続していくうえでの原点です。みんなが共感できるもの、一致できるもの。それを次年度のキーワードにしたい。キーワードは単純なもので良い。私達は日々何気なく言葉を使っておりますが、言葉には大きいパワーが秘められている。次年度のロータリーをわかりやすいキーワードで表現することができたらよいのではないかと投げかけられました。そして、楽しく、仲よく、和やかにスタートし、2019年6月30日のゴール迄よろしくお願い致しますと脇洋一郎ガバナーが語られました。

さて、前年度のRIテーマは「ロータリー変化をもたらす」でした。今年度2018-19年度国際ロータリーバリー・ラシン会長は「インスピレーションになろう」を掲げられました。創設以来113年の歴史を持つロータリーの役割は世界において、また、会員の人生に於いて、絶えず進化してきました。また、ロータリーは今も、そしてこれからもずっとオイール・ハリスが思い描いた団体でありつづけます。地球上のあらゆる国の人たちが手を取り合い、自分を越えた素晴らしい事を生み出せる場所です。世界を変えようとする熱意を持つ人たちの世界的なネットワークの一員となれるチャンスです。ロータリーの奉仕は、人々の人生、そして地域社会を変えるものです。真に変化を生み出す奉仕をもって実現するために自分の役割、そして世界におけるロータリーの役割をこれまでとは違う角度で捉える必要があります。公共イメージをもっと重点を置き、ソーシャルメディアを活用して会員基盤を築き奉仕のスケールアップを助長してくれるパートナー組織に注目してもらう必要があります。より持続可能な影響をもたらす大きなプロジェクトに力を注ぎ、

ロータリー年度や任期を超えた活動の研究と計画に時間を費やす必要があります。一番大切なのは、前向きな変化を生みだし、私達が今日直面する課題に勇気と希望、そして創造性を以て正面から立ち向かう意欲を、クラブ、地域社会、そして組織全体から引き出すための「インスピレーション」となる必要があるのです。と語っておられます。ロータリーは世界平和の縮図であり、国々が従うべきモデルです。

ロータリーは可能性を指し示し、そこに到達する意欲を引き出し、行動を通じて世界の(インスピレーションになる)ための道を拓いてくれるのですと結んでいます。

地方方針の中で奉仕の実践を最初にかかげられた脇ガバナーが示されていることはRI戦略計画の推進、会員増強・会員維持、寄付のお願い、ロータリークラブを対象とするロータリー賞へのチャレンジ、マイロータリーの登録率の向上などを掲げておられます。

どうか会長・幹事さんを中心にこれらの課題を真剣に受け止めていただき目標値を上回る成果を引き出しいただきますことを是非お願い致します。

最後になりますが、厚木中RCが今取り組んでいるロータリーアクトに関するRI会長のバリー・ラシンさんからの心を込めてメッセージありますので紹介いたします。

親愛なるロータリーリーダーの皆さま

ロータリーの新しい戦略計画を前にして、ひとつ明らかかなことが有ります。未来のロータリーを築くためには、未来に向けたロータリーのリーダーシップの育成に、力を入れて取り組まなければならない。若い世代にロータリーの奉仕活動に参加してもらい、奉仕の心をもつ若い職業人をロータリーファミリーに向かい入れるために、より一層の努力をすることです。

50年前にロータリーがまさにそのために立ち上げたプログラムが、ロータリーアクトです。多くの点でロータリーアクトは驚異の成功を遂げてきました。今日、1万クラブで25万人のロータリーアクターが活動しています。

奉仕活動に於いても成長においてもロータリーアクトが大きな成果を上げてきた一方で、ロータリーはもともと期待していたロータリアン育成機関としての存

在へとロータリーアクトが成長を遂げるための支援をほとんど怠ってきました。ロータリーアクトクラブを提唱するロータリーは27%にとどまり、ロータリーアクトで活動する才能とやる気にあふれた若者がその後ロータリーへ入会する率は、非常に低いのが現状です。この現状を一変させることが、今年度の目標です。そのためには、ロータリーアクトクラブの数を倍増させ、必ずどのロータリーアクトクラブも歓迎することです。同じ地域にとどまる若い人たちから成る地域社会を基盤としたロータリーアクトクラブをつくりあげ、その地域のロータリークラブへの入会へとつなげていけるように、戦略的に取り組んで頂きたいと考えています。

ロータリーアクトクラブを提唱するうえで最も重要なのは、ロータリーアクトとロータリーの関係を密に保つ事です。合同例会を開き、合同プロジェクトを実施し、ロータリークラブの例会にロータリーアクターを招きましょう。ロータリーアクターを年下の同僚として扱い、彼らがもたらすインスピレーション、知識、新しいアイデアを奉仕活動に取り込むのです。提唱したロータリーアクトクラブのロータリーアクターたちと知り合い、その中で誰がロータリーに丹生かい思想化を見極め、時が来たらロータリーに誘ってあげましょう。また、彼らのニーズに合った新しいロータリークラブの結成も検討し、これまで以上に多様で、柔軟で、強いロータリーをつくりあげていきましょう。ロータリーアクトクラブの結成と支援に役立つ様々な資料をご紹介します。ロータリーアクトの冒険にぜひ踏み出して下さいと心を込めてRI会長バリー・ラシンさんからのメッセージをお知らせして本日の卓話を終わらせて頂きます。

— IA 挨拶 —

会長：関野 志織さん



こんにちは。厚木商業でボランティア部をしています。この前のPOLIO募金お疲れ様でした。暑くて少ない中で1万も集まったことで誇らしいことだと思います。私自身3年ですので、3回目のPOLIO募金でしたが、前以上にやりがいを感じ、人

の有難味を感じました。3年間振り返りますと、コミュニケーション能力が高まり、明るくなれたと思います。これからも活動を頑張っていきたいと感じました。
竹田 純菜さん



こんにちは。厚木商業高校ボランティア部の1年の竹田純菜です。この前のPOLIO募金は暑い中、地域の人のやさしさ、温かさに触れられて非常に良い活動になりました。後2年、ボランティア部の活動を頑張っていきたいと思います。

三住 ころろさん

こんにちは。厚木商業高校2年の三住です。この前のPOLIO募金に行けなかったのが、今度のバザーで頑張りたいと思います。

廣島 紗雪さん

こんにちは。厚木商業高校三年の廣島です。IAの活動で人と触れ合うことや協力することの楽しさを学びました。今年、就職を考えてまして、事務職を目指しているのですが、ためになる話があれば教えてください。

高橋 莉笑瑠さん

こんにちは。厚木商業高校三年の高橋です。昨年台湾研修を経験しまして、人とのかわり方を学びました。これから卒業まであと少し、更に活動を通して成長したいと思います。

濱邊 尚弥さん

こんにちは。厚木商業高校一年の濱邊です。柔道部でも頑張ってきて、膝は壊れてしまいましたが、頑張っていきます。この前のPOLIO募金に行けなかったのが、今度のバザーで頑張りたいと思います。

河上 謙大さん

厚木商業高校一年の河上と申します。先日のPOLIO募金では中々経験できないことを経験でき、有り難うござい

ました。コミュニケーション能力に自信がありませんが、高めていきたいと思っています。

佐藤 二千夏さん

厚木商業高校三年の佐藤です。私はPOLIO募金に3回参加して、とても良い経験になりました。私は3年で残りの活動は少ないんですが、積極的に参加したいと思っています。将来医療関係の仕事に就きたいと思っていますが、コミュニケーション能力に自信がありません。医療関係の仕事にはコミュニケーション能力が必要だと思いますので高めていきたいと思っています。

— ローターアクト (予定) 挨拶 —

竹田 翔哉さん

皆さんこんにちは。本日は合同例会にお招きいただき有り難うございます。厚木中ローターアクト設立後に会長を務めさせていただきます竹田翔哉です。本日IAの皆さんとここにこれて、中野ガバナー補佐のお話の中でRI会長からメッセージをいただいたこと、大切なお話をいただいて、頑張らないと思いました。また、メッセージを頂いた日が8月7日ということで僕の誕生日と同じ日だったので何かのご縁を感じました。今後とも皆様と頑張っていきたいと思いますので宜しくお願い致します。

遠藤 滉太さん

厚木中ローターアクト設立後に幹事を務めさせていただきます遠藤滉太です。何度かお話をさせていただく機会をいただいて、中野ガバナー補佐のお話にあったように、まずはロータリーとは、ローターアクトとは何かについて学び、その結果、僕たちの自由な発想から「こんな活動ができないか」ということをロータリーの皆さんと相談させていただいて、活動していきたいと思いますので宜しくお願い致します。

—例会スケジュール—

点鐘 12:30

会場 レンブラントホテル厚木

《出席率》

日時	内 容	担 当	会員数	欠席者数
8/29	1949回 ガバナー公式訪問 夜間例会	会 長	29	8
9/5	1950回 クラブ協議会	会 長		
9/12	1951回 卓話例会	クラブ管理運営委員会	出席率	前々回修正出席率
9/19	休 会			
9/26	1952回 卓話例会	クラブ管理運営委員会		